

## 「幻のハワイ日本連合」鑑賞 および 「トロピカル・デー」企画

日本人が国際舞台で活躍する際に欠くことのできない素養のひとつとして、「自国の歴史の正しい認識・理解」があげられます。自国の歴史を語れない人は、外国の人から尊敬されることもありません。歴史に関するデータはあまりに膨大であり、かつ相反する資料が存在します。教科書やメディアにおける歴史に関する記載が常に真実であるとは限りません。「疑ってみる」こともときに必要となる場面もあります。多角的な視野をもって歴史を捉えていくことは極めて重要です。

今回の企画においては、一般にあまり馴染みのないハワイ王国と日本との歴史に関する映像（NHK 番組「その時歴史が動いた／幻のハワイ日本連合」）を観ていただきます。ハワイと日本の歴史的関係といえば、太平洋戦争のきっかけとも言われる真珠湾（パールハーバー）が有名ですが、これはアメリカ合衆国（米国）の一部であるハワイとの関係であり、米国に併合される以前の（原住民である）ハワイ王国との関係ではありません。

明治維新により日本が新たな国づくりを始めた 19 世紀後半、アジアは米国を含む欧米列強による植民地支配・帝国主義の波にのみ込まれようとしていました。ハワイ王国も同様に米国の進出にあえいでいました。

- ✓ 当時のカラカウア国王が、日本に提案した構想とは？
- ✓ 米国に併合された後のハワイ州の真珠湾においては日本と敵対したハワイですが、ハワイ王国時代のハワイと日本の関係は？
- ✓ 帝国主義にのみ込まれようとする当時のアジア情勢とは？
- ✓ それが日本の決断に与えた影響とは？

各自の感性でひとつの歴史データを分析していただければと思います。

上記の DVD 鑑賞で歴史を学んだ後、日を改めて「トロピカル・デー」という日を設けます。この日は、制服を着る必要がなく、自分が「トロピカル」と思った服装・髪型・装飾品で登下校し、授業を受けていただいて構いません。せっかく時間を使って観た映像を記憶に残すこと、さらには、期末試験も終わり、夏休みを前に自由な発想力で夏の一日を楽しんでいただくことを趣旨としています。要領は以下のとおりです。

### 「トロピカル・デー」

日時：2011 年 7 月 15 日（金）終日

服装：自分の発想・表現で「トロピカル」と言える格好であれば何でもよいです（髪型、アクセサリー等自由。ただし、水着やへそ出しは禁止。各自、登下校時の安全にも配慮してください）。是非、各自の発想力・表現力を見せつけてください。友達どうし「何故トロピカル？」と声をかけ合い、「ここがトロピカル」と言い合い、各人の発想力・表現力を磨いてください。制服がよい、という人は制服でも構いません。